

学校の七（？）不思議 by D組

貴方の学校にはありますか？「学校の七不思議」。この物語はD組が演じる、その不思議に纏わる物語…。



STORY

兒子達が集い、学ぶ場所に、古から伝わる七つの不思議。
「学校の七不思議」

一人の少年が図書室で見つけた本。
それにはその学校の七不思議について記されていた。
その本に興味を持ち調査を開始する。

一年生、二年生、三年生それぞれが一つずつ謎を調べていく。

けれど、調査しても解決しない(?) 不思議も、
解決してみると、合点のいくような単純な謎もあった。

中には笑ってしまうようなギャグも混ざりながらすべての謎を調査した少年達。
彼ら自身は大きな達成感を得ぬまま調査を終えるが、
調査の中で伝えられていく事。

それは…

「世の中には気が付かない事も沢山ある。」
ということ。



◀少年が見つけた本。
それには七つの不思議について
記されていた。

1. みつけた人が不思議を体験する本がある
2. 24時間睡眠をとらず目をつぶると未来へ行ける
3. 不思議が無いという不思議
4. 音楽室で悪魔召喚の儀式をする霊が現れる
5. ひょっこり顔を出すと謎の9人目が現れる
6. 不思議が無いという不思議
7. 藤華祭のステージでギャグを言うと時間が止まる



◀8人の学級がひょっこり顔を出すと
謎の9人目が現れるという謎。
けれど写真に映っていたのは8人…。
少年達は謎を解決できなかった。



◀音楽室で悪魔召喚の儀式をする霊が
現れる。その謎に迫る！けれども、
その儀式を楽しんだら、調査を忘れて
帰ってしまう。



▶でも、実際は検証用の写真を
撮影していた少年が一人。つまり
謎の9人目は存在していたのだった。



▶藤華祭のステージでギャグを
言うと時間が止まるという
不思議を検証。「ハマチは
ハウマッチ!？」ギャグは滑った。
そして、本人以外は自覚が
無いが、時間も止まった。



「人は自覚していなくていいけど、体験していることが多い。」



「幸せや人からの親切も知らないうちに体験している。」



インタビュー！

— 感想を

時間がなかったけど、協力していいものにできた。

— 嬉しかったことは？

ギャグが滑ったこと。

— 来年頑張る後輩に一言！

来年はもっといいストーリーにしてください。

今年は例年と違い、当日の劇と撮影した映画を組み合わせたことによって作り上げたステージ。学校の七不思議をテーマにしているため恐ろしい話なのかと思いますが、実際はとても大切な事を教えてくれる話でした。実際は単純な事なのに不思議として扱われていたものや、その現象に気付けた者も気付かなかった者もある不思議、中には本当に怪奇現象のような不思議もありました。けれど、すべてのことに共通して言えたのは「人は気付かないうちに体験していること多い。」ということが示されていてということ。そして、「幸せや、人からの親切にも気付けていない。」という本当に大切なメッセージが込められていました。

内容、演技、映画という形式、メッセージ、どれも大切にされ、どれも磨かれていたD組ステージ、「学校の七(?)不思議」。本当に心に響くものがありました。きっと、あなたにもあるはずです。まだ気付けていない幸せも親切も大切なものも。どうですか？ 今日一日、普段気が付かないものにも目を向けて過ごしてみませんか。その先にも何か大切なものが待っているはずです。